

送付票(本状含め2枚)

宛先 各医療機関
各地区医師会・歯科医師会・
薬剤師会
各市町村
各市町村教育委員会
送信者:富士・東部保健所 地域保健課

御中

平成28年8月26日
富士・東部保健所

感染症発生動向調査情報(週報)

2016年33週(08月15日～08月21日)

○ 山梨県内流行情報

咽頭結膜熱の中北保健所峡北支所管内の警報レベルは解除となりました。また、手足口病については、中北保健所峡北支所管内で引き続き警報レベルです。手洗いの徹底や排泄物の適切な処理、タオルの共有をしないなどの対策が重要です。伝染性紅斑については、富士・東部保健所管の警報レベルは解除となりました。ヘルパンギーナについては、中北保健所管内及び峡東保健所管内の警報レベルは解除となりましたが、中北保健所峡北支所管内、富士・東部保健所管内で引き続き警報レベルとなっており、特に富士・東部保健所管内では大変流行しています。ヘルパンギーナの予防については、手洗い、うがいの励行に心がけましょう。

【今週の警報】: 手足口病(中北保健所峡北支所管内) / ヘルパンギーナ(中北保健所峡北支所管内、富士・東部保健所管内) 【今週の注意報】: なし

○ 富士・東部管内流行情報

ヘルパンギーナの警報レベルが継続しています。ヘルパンギーナは子ども(特に乳幼児)を中心に流行しやすく、接触飛沫感染をする感染症です。突然の38～40℃の発熱と、口の中に水疱ができ咽頭痛が伴うのが特徴です。また、夏季に流行しやすい感染症の一つです。この感染症は飛沫感染ですので、マスクの着用や手洗いうがいの励行など一般的な予防対策をしっかりと行い引き続き体調管理に留意しましょう。また乳幼児は集団と接することが多いため、タオルやハンカチ等の共有も気をつけましょう。

○ 定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	92	0.02	1170	0.38	1181	0.38	2978	0.97	9213	2.99	794	0.26
山梨県	-	-	-	-	1	0.04	13	0.54	49	2.04	5	0.21
中北	-	-	-	-	-	-	1	0.13	17	2.13	2	0.25
中北峡北	-	-	-	-	-	-	4	0.8	10	2	1	0.2
峡東	-	-	-	-	-	-	5	1.25	1	0.25	1	0.25
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	4	2	-	-
富士・東部	-	-	-	-	1	0.2	3	0.6	17	3.4	1	0.2
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	1538	0.5	442	0.14	1420	0.46	53	0.02	4521	1.47	3347	1.09
山梨県	21	0.88	7	0.29	5	0.21	-	-	57	2.38	13	0.54
中北	7	0.88	1	0.13	1	0.13	-	-	8	1	3	0.38
中北峡北	12	2.4	1	0.2	-	-	-	-	12	2.4	3	0.6
峡東	-	-	2	0.5	-	-	-	-	5	1.25	1	0.25
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1.5	-	-
富士・東部	2	0.4	3	0.6	4	0.8	-	-	29	5.8	6	1.2
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	4	0.01	535	0.79	9	0.02	42	0.09	415	0.88	7	0.01
山梨県	-	-	-	-	-	-	1	0.1	4	0.4	-	-
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.33	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.5	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-	1	0.5	2	1	-	-

(次ページあり)

○ 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	33週		32週		31週		30週	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	0.21	5	0.04	1
咽頭結膜熱	減少しています	平年より少ない発生数です	0.04	1	0.38	9	0.25	6	0.33	8
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	やや減少しています	平年並みです	0.54	13	0.92	22	0.79	19	1.29	31
感染性胃腸炎	横ばいです	平年並みです	2.04	49	1.96	47	2.54	61	2.21	53
水痘	やや減少しています	平年並みです	0.21	5	0.46	11	0.46	11	0.17	4
手足口病	減少しています	平年並みです	0.88	21	1.83	44	0.79	19	0.92	22
伝染性紅斑	減少しています	平年並みです	0.29	7	0.54	13	0.46	11	0.63	15
突発性発疹	横ばいです	平年より少ない発生数です	0.21	5	0.21	5	0.29	7	0.25	6
百日咳	-	-	-	-	0.08	2	-	-	0.04	1
ヘルパンギーナ	減少しています	平年並みです	2.38	57	4.79	115	5.38	129	5.67	136
流行性耳下腺炎	増加しています	流行しています	0.54	13	0.33	8	0.5	12	0.71	17
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	0.11	1	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	0.22	2	0.11	1	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	減少しています	平年並みです	0.1	1	0.2	2	0.1	1	0.1	1
マイコプラズマ肺炎	-	-	0.4	4	-	-	0.3	3	0.6	6
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

○ 全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
五類感染症	梅毒	中北	女	42
五類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	中北	女	89
四類感染症	レジオネラ症	中北	男	66
五類感染症	後天性免疫不全症候群	中北	女	44
二類感染症	結核	富士・東部	女	50
二類感染症	結核	峡東	女	91
五類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	富士・東部	男	33
五類感染症	梅毒	中北	男	41
二類感染症	結核	富士・東部	男	69
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	富士・東部	女	23